

団地モデルにおける課題に対する取組の方向性

前回の会議で確認した課題	
○通常の地域包括ケアシステムの構築 (医療・介護・予防・生活支援の一体的な提供)	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者や家族等が気軽に相談できる場所の確保 2 ICTを活用した医療と介護の連携 3 在宅医療(訪問診療・訪問看護)、定期巡回・随時対応サービス等の充実 4 高齢者の健康づくり・介護予防の充実 5 高齢者の見守りなど生活支援の充実
特に重点的に取り組む事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が安心して暮らせる住まいの確保 <ol style="list-style-type: none"> 1 エレベータが設置されていない賃貸住宅居住高齢者への対応 2 高齢者の住み替えニーズへの対応 3 空き家(空き室)増加への対応
	<ol style="list-style-type: none"> 2 高齢者の活力を活用した、あるいは高齢者の生きがいに繋げる多世代の交流 <ol style="list-style-type: none"> 1 交流場所の確保 2 高齢者と園児、児童、障害者等、多世代との交流機会の充実・拡充 3 元気な高齢者がボランティア等により他の高齢者等を支援する活動の創出
	<ol style="list-style-type: none"> 3 買い物場所の確保など、新たなまちづくり <ol style="list-style-type: none"> 1 買い物場所の確保 2 若い世代の移住が促進されるような魅力あるまちづくり・住宅施策 3 移動手段の確保



取組の方向性
<p>1 県有地を活用し、地域包括ケア拠点、高齢者向け住宅、商業施設等を誘致・整備する。</p> <p>県有地にサービス付き高齢者向け住宅を民間活力により誘致・整備するとともに、以下の施設等を併設し、地域包括ケアの拠点とする。</p> <p>[併設施設(案)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族等からの相談を受ける相談窓口 ・不足している在宅療養支援診療所、定期巡回・随時対応サービス事業所等の医療・介護サービス事業所 ・地域住民の多世代交流や地域活動ができるスペース ・若い世代の育児をサポートする保育関連施設 ・食品スーパー、ドラッグストア、カフェ等の商業施設
<p>2 既存住宅を活用し、低所得の要支援・要介護高齢者向けの住宅を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸住宅の空き室等を、民間活力によりサービス付き高齢者向け住宅として整備することについて検討する。
<p>3 多世代交流等の機会の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童、中高生、障害者など多世代等との交流や、男性高齢者の参加を促す地域活動を創出する。
<p>4 健康づくり、介護予防の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形(高森山)や人材(健康づくりリーダー・食生活改善推進員等)を活用し、健康づくり・介護予防事業の充実を図る。 ・利用されていない公園や空き地を、高齢者の生きがいづくり・健康づくりの場として活用する。
<p>5 買い物のための送迎等の仕組みを検討する。</p> <p>必要な時に、気軽に買い物等ができるよう、老人クラブや元気な高齢者有志等による送迎等の仕組みを検討する。</p>